

第14号

編集・発行
八幡地区社会福祉協議会

倉敷市柏島東憩の家
倉敷市玉島柏島1532-23
☎522-1217

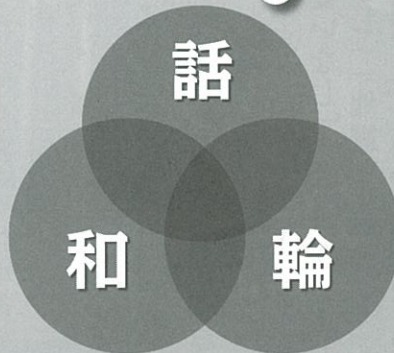
三つの『わ』で

愛育活動を!

愛育委員は、「話」↓対話・話し合いを大切に

「和」↓心を和ませて

「輪」↓みんなと手を取り合って



を大切にし、自分自身の健康に気をつけながら、家族そして近隣地域へと健康の輪を広げていきたいと願いつつ活動をしています。

健康づくりを目的とした「八幡地区ミニ健康展」では、愛育委員が主役となり、事前の話し合いを十分にした後、それぞれの班で係分担を決めて、血圧・肺活量・骨密度測定・健康クイズなどをしました。また、和やかな雰囲気の中での会食は、愛育委員同士のつながりが一層深まったようです。

参加者から「参加してよかった」「来年もこのような会があったら参加したい」という声も聞かれました。これからも地域の健康づくりの輪を広げるためにしっかりと声かけをし、地域の健康意識を高めていきたいと思えます。

八幡愛育委員 中村 玉子



平成27年度 八幡地区社協理事名簿

役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体
1 会長	西山 寿男	交通安全協会 少年補導	8 理事	三宅 哲	八幡陸会
2 副会長	出宮 尚	交通安全協会	9 理事	中村 玉子	愛育委員会
3 副会長	森本 初子	栄養改善協議会	10 監査	大橋 堅一	スポーツ推進委員
4 副会長	畑 算悟	消防団	11 監査	城戸 信公	保護司
5 会計	富山 徳二	民生委員	12 事務局長	日吉 一三	民生委員
6 理事	伊丹 康勝	のぞみ会	13 書記	穴吹 征男	民生委員
7 理事	中藤 勇一	環境衛生玉南支部			

投稿

▽八幡地区社協だよりに寄せて

現在、倉敷市には五十二の小学校区に地区社会福祉協議会が設立されています。小学校区が市内に六十三学区ありますので、設置率は八二・五%となります。

その中で、八幡地区社会福祉協議会は平成十三年九月二十三日に設立され、市内五番目に設立された地区社協です。設立時から、倉敷市社協として「小学校区をエリアとする」としておりました。

その点において「八幡地区」を一つのエリアとして地区社協として認定することが難しかったのですが、発起人の皆さんの強い希望と、熱心な働きかけによって、時の市社協会長の英断を得ることに成功し、玉島南小学校区の中の「旧八幡小学校区」として認定することとなりました。

あれから十五年、今では三世代交流事業として、秋の運動会、餅つき大会、また地域福祉活動として要援護者安否確認事業など多くの地域住民を巻き込んだ活発な事業が実施されています。

私も、一昨年に二十数年ぶりに玉島事務所に赴任させてもらい、共同募金運動の一環として八幡地区社協の運動会に参加させていただきました。地域に子ども数が減り、高齢者ばかりの運動会になってしまったと、他の地区社協の役員が漏らしていた中で、八幡地区社協の運動会では小さな子ども達の明るい声が玉島港に響き渡り、とても楽しい心触れ合う事業を見せていただきました。

また、この八幡地区の方々は平成十六年の台風十六号による高潮災害に見舞われ、多くの方が被災された地区です。あの折には地区住民の方々がボランティアとして被災された家庭に支援の手を差し伸べられたと聞いております。

昨年、一昨年と玉島南小学校で実施された倉敷市総合防災訓練には予定参加者を大きく上回る人が参加してこられたとのことですが、これは地区の防災意識の高さを示すものと思います。

こうした活動が、今の地域住民の共同意識を作り上げ、地区社協の心温まる高齢者等への見守り活動と相まって素晴らしい地域を作っているのではないのでしょうか。今後も、こうした地域住民の横のつながりを絶やさず継続していくことがそが地区社会福祉協議会の役割であり、地域住民の誰もが「安心して生活できる地域づくり」だと思えます。今後とも皆様のますますのご活躍を期待いたしております。

瀧澤 厚志

▽防 災

最近急に寒くなり、暖房器具を使う機会も増えてきました。玉島でも死者が出る住宅火災が相次いで報道されました。特に最近の建物は、新建材が燃え有毒ガスを発生するので、非常に危険です。一般的に火災の原因は、天ぷら・ストーブ・たばこ等が主な原因です。十分注意してください。

さて、「天災は忘れたころにやってくる」「備えあれば憂いなし」「災害に時なし場所なし予告なし」「地震、雷、火事、親父」等災害に関することわざは多くあります。災害の種類も地震、火災、台風（風水害、土砂災害）等様々あります。

ところで、特定の住宅が火災になる確率は、ある統計によると、三十年間で〇・二%あるいは百五十年に一回だそうです。では地震の確率はどうか？火災の確率より数倍高いと言われている。

東南海地震の発生確率は、最新の情報

では今後三十年間に約七十%と言われております。東北大震災以後、過去大地震が発生した地域の関心は非常に高く、様々な対応を（自主防災組織等）しています。玉島南小学校区にも自主防災組織を立ち上げ、活発に活動をしている地区もあります。倉敷市は災害の少ない地域ですが油断は禁物です。市は東南海地震発生により、最大震度六強、津波は最大三・二mと公表しています。既にハザードマップも各家庭に配布されていますので確認してみましよう。（玉島地区の液状化についても確認を）

さて、自分の住んでいる地区の過去の災害状況を知ることが大切です。この地区は台風による宝亀堤防等の決壊による水害が多いです。特に記憶に新しい災害は平成十六年の台風です。また過去、特に被害が大きかった水害の記録が『海嘯懲毳要録』に残っています。（明治十七年八月の台風）また、玉島地区も江戸・昭和の東南海地震による家の倒壊・液状化の被害記録があります。

津波は倉敷市に到達するまでに二ないし三時間の余裕がありますが、堤防（最大震度の条件でも大丈夫な強度で作られていません）が地震により決壊しないという保証はありません。私達は日頃から、地震に対する対策、特に自分の命を守るためにどうするかを考えておくことが大切です。

死者の多くは、東北大震災は津波、阪神淡路大震災は家屋の倒壊、家具の下敷きによる圧死（約八〇%）です。倉敷市でも学校等公共施設の耐震化が進んでいます。ぜひ自分の住宅も耐震化について調べてみてください。日々地震が起きると思つて暮らすことありませんが、避難訓練、防災講演の機会があれば参加してみたいかどうか。普段できないことは、たぶんいざという時でもできません。関心を持つことが、自分の命そして身近な

人の命を救うことになるかもしれません。最後に、地震発生直後に全ての家庭に消防・警察・市役所・民生委員等が駆けつけることはできません。阪神淡路大震災の時、建物の下敷きになった人の自力脱出困難者の約七七%は、家族、近隣住民によって助けだされています。

従来から「自助」「共助」「公助」と言われますが、旧山古志村の村長長島忠美（現在国会議員）氏が村の復興について言っています。「煩わしいほどの地域コミュニティが住民の命を守り、生きる意欲になった。」と。

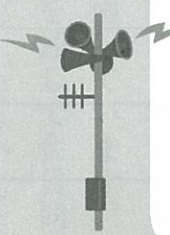
日頃からお互いさまの気持で向う三軒両隣で、声をかけたり近所づきあいを心がけることが大切なことです。そしてそのことが地域のつながりであり、最も大切な「絆」となるのです。（T・S）

※防災クイズ（5問）

- 1 東南海地震発生時の確率は三十年以内に五〇%である。
- 2 家の中で地震が発生したらまず机の下に隠れる。
- 3 車の運転中地震が発生したら貴重品を持って安全に避難する。
- 4 倉敷市では毎月緊急放送のテストを実施している。
- 5 調理中地震が発生したので、最初にコンロの火を消した。

答え

- 1 × (七〇%)
 2 × (止める。取まってから避難する。ただし鍵は車につけておく)
 3 × (まずは、身の安全を図る。取まってから火を消す)
 4 ×



▽ 私の宝物 (旧街道一人旅)

「あなたの趣味は」と聞かれたら、「旅行」と答えるであろう。お金と時間が自由に使えるなら年中でも旅をしたい。自分の足と目で各地を確認してみたい。「知らない土地を訪ねたい」という思いと同時に、江戸時代の庶民の旅に興味を持って。車も鉄道もなく自分の足で移動する以外、方法のない時代、江戸庶民の代表的な観光旅行は、伊勢参りであつたらうと思う。

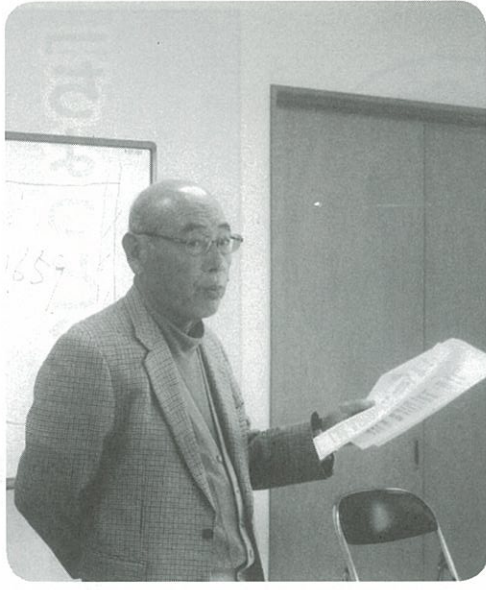
私もこの伊勢参りに挑戦してみた。江戸日本橋を出発し旧東海道を歩き、日永の追分から伊勢街道に入り十六日間を要して伊勢神宮に到着。道中いろんな出来事があつたが貴重な体験をし、この道中の思い出をまとめ、小冊子も出版することも出来た。

旧東海道以外にも、「熊野古道」、旧中山道の一部で島崎藤村の小説「夜明け前」の舞台でも有名な「木曾路」を歩く一人旅にも挑戦した。

いずれの道中も、見聞を広げることができたと同時に、人には伝え難い思い出が沢山出来た。

この自分の足で歩いての「旧街道一人旅」は、私にとって何よりの宝物である。

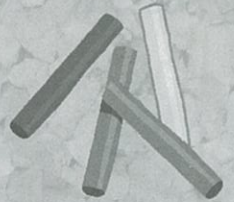
元民生委員 吉川 一弘



総 会



運 動 会



施 設 訪 問



も ち つ き



「ちよつと、忘れてはいませんか」

小田 和男



一月二十三日、玉島南小学校の創立五十周年記念の式典に招待されました。南小学校は私が第九代校長として、PTAの皆さんはもとより、地域の方々は大変お世話になった思い出の学校です。また、私にとって親子孫と三代お世話になった学校です。

校長室・家庭科室・職員室等改築され、広く・明るく、そして廊下はバリアフリーになっていました。校舎の改築と、創立五十周年記念という節目を同時に迎えることができたのは何か不思議なモノを感じました。式典には、児童・教職員・保護者、それに来賓として議員・教育委員会はもとより、歴代の

校長・PTA会長・子ども安全パトロール隊のみなさん、総勢二十七名の方々のご出席でした。子どもたちが毎日安心して登下校や学校生活ができるのもこうした方々の協力と、見えるところ、見えないところで見守って下さっていることを改めて思いました。

私達は、人と人とのご縁で結ばれ、お世話になって生きてることを忘れてはなりません。

次に、八幡地区社協のことでありますが、西山寿男会長を中心に役員全員が【和】と【奉仕】の精神で結ばれ活動されています。人と人の縁が希薄になってきている昨今、楽しい行事を通して親子はもとより新しい出会いの場を長年されてきたことに頭が下がります。

港公園の清掃活動。休みの日には、親子連れが楽しそうに遊んでいる姿をよく見かけます。きれいで気持ちがいいからです。奉仕して下さっている方々に

感謝する事を子どもたちに教えることを、親は絶対忘れてはなりません。『ありがとう』すばらしい言葉です
二つのことから、人は目に見えない縁で結ばれていること、感謝と奉仕の心をもって暮らすこと、それが幸せな生き方ではないでしょうか。この心を次の世代にぜひ伝えていきたいものです。八幡地区社協の益々のご発展を祈っています。



のぞみ会便り のぞみ会のご案内 八幡学区一人暮らしの会

民生委員の担当地区 (敬称略)

穴吹 征男	柏台5丁目
大島 洋志	船宮・金谷・福井・八幡原団地
出宮加代子	榎山・奥谷・寺前1・寺前2畑の前・深底
	蔵戸・大井・辻谷・南陽台南谷ハイツ 他
岡部 正広	金頭団地・桃山団地原上町内会
原田 祥一郎	羽口・南谷・山之端奥谷市営団地
西山 壽男	押山・宮本町・ひまわり団地
日吉 一三	外浜・宝亀
富山 徳二	西浦

地域の皆様、いつもお世話いただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。私、のぞみ会の伊丹です。のぞみ会は、六十五歳以上の一人暮らしの人が入会できます。会費は年額千円です。会員・社協・民生委員の皆様と相談して会を進めています。催しものは二ヶ月に一回予定、ビンゴゲーム・輪投げゲーム・寸劇研修・動画研修・手芸・趣味作品の展示・新年会などいろいろの企画しています。これらの行事を通して会員同士の親睦を深めています。